

科目名	総合日本語Ⅲ						
科目名(英)							
単位数	11単位	時間数	170時間	担当者	河崎・日浦・高田		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	『テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版』(研究社)を使用して、N2～N1レベルの漢字・語彙・文法などを学習する。各課の読み物を読み、それについて日本語で意見交換をする。また、日本語能力試験の対策授業、模擬試験も随時実施する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				N2～N1レベルの言葉・文法を覚え、使うことができる。	
		○				N2～N1レベルの文章を読むことができる。	
		○				日常身近に体験する出来事や社会的な話題について、感想を述べることができる。	
		○				異なる視点や考え方を持つ相手とも、興味・関心を持って情報や意見の交換ができる。	
テキスト・教材 参考図書	・松田浩志 亀田美保 著 『テーマ別中級から学ぶ日本語 三訂版』 研究社 2014年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1～4	「テーマ別中級から学ぶ日本語」第11課				教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)	
	5～8	「テーマ別中級から学ぶ日本語」第12課				教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)	
	9～12	「テーマ別中級から学ぶ日本語」第13課				教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)	
	13	復習				学習した項目を復習すること(1時間)	
	14～17	「テーマ別中級から学ぶ日本語」第14課				教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)	
	18～21	「テーマ別中級から学ぶ日本語」第15課				教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)	
	22～25	「テーマ別中級から学ぶ日本語」第16課				教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)	
	26	復習				学習した項目を復習すること(1時間)	
	27～30	「テーマ別中級から学ぶ日本語」第17課				教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)	
	31～34	「テーマ別中級から学ぶ日本語」第18課				教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)	
	35～38	「テーマ別中級から学ぶ日本語」第19課				教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)	
	39～42	「テーマ別中級から学ぶ日本語」第20課				教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)	
	43～48	日本語能力試験模擬試験(3回)				学習した項目を復習すること(1時間)	
	49～68	能力試験対策				教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(0.5時間)	
	69～72	総合学習(校外学習)					
	73～74	総合学習(陶芸教室)					
75～85	総合学習(新聞・ニュース・映画などを使用。プレゼンテーション)						
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	○				50%
	小テスト	○	○				50%
履修上の注意							

科目名	会話Ⅲ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	日浦 由布子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話ができることを目標に、自然な使用場面を想定した教材を使用して会話練習を行っていく。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		店で買いたいものについて質問したり、希望や条件を説明したりできる	
	○	○		○		よく知っている場所の道順や乗り換えについて説明できる	
	○	○		○		準備をしていれば、よく知っている話題についてプレゼンテーションができる	
		○				丁寧な言い方とくだけた言い方が使い分けられる	
テキスト・教材 参考図書	・小林ひとみ/『新にほんご会話トレーニング』/アスク出版/2020年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	新にほんご会話トレーニング ユニット4 道や場所を尋ねる(1)			自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)		
	2	新にほんご会話トレーニング ユニット5 道や場所を尋ねる(2)			自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)		
	3	新にほんご会話トレーニング ユニット6 買い物(1)			自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)		
	4	新にほんご会話トレーニング ユニット7 買い物(2)			自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)		
	5	新にほんご会話トレーニング ユニット8 郵便局			自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)		
	6	新にほんご会話トレーニング ユニット9 レストラン			自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)		
	7	新にほんご会話トレーニング ユニット10 学食			自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)		
	8	新にほんご会話トレーニング ユニット11 図書館・コンピュータ室			自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)		
	9	新にほんご会話トレーニング ユニット12 病院			自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)		
	10	新にほんご会話トレーニング ユニット13 あいさつ			自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)		
	11	新にほんご会話トレーニング ユニット14 遊びの約束をする			自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)		
	12	新にほんご会話トレーニング ユニット15 電話をかける			自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)		
	13	新にほんご会話トレーニング ユニット16 待ち合わせ(1)			自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)		
	14	新にほんご会話トレーニング ユニット17 待ち合わせ(2)			自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)		
15	新にほんご会話トレーニング ユニット18 物を贈る			自分で習った会話を声に出して練習してください(20分)			
評価方法	(1) 定期試験(会話)を実施する。(2)発表を数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○		○		50%
	発表	○	○		○		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	聴解Ⅲ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	濱田 奈美子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	N3～N2レベルの各問題の特徴と正答を導くためのポイントを学び、解法を学んだ後は、できるだけ多くの問題を解くことでN2に合格できるための聴解力を養成します。						
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○	その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
	○				具体的な課題解決に必要な情報を聞き取り、次に何をするのが適当か予測できる。		
	○				事前に示されている聞くべきことをふまえ、ポイントを絞って聞くことができる。		
	○				テキスト全体から話者の意図や主張などが予測できる。		
	○				質問などの短い発話を聞いて、適切な応答ができる。		
	○				長めのテキストを聞いて、複数の情報を比較・統合しながら、内容が予測できる。		
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・中村かおり 福島佐知 友松悦子 著 『新完全マスターN2聴解』 スリーエーネットワーク 2011年 ・星野恵子 辻和子 著 『ドリル&ドリルN2聴解・読解』 UNICOM 2010年 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	「即時応答」のスキルを学ぶ 最初の文を理解する				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	2	「即時応答」のスキルを学ぶ 返事の文を考える				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	3	「課題理解」のスキルを学ぶ すべきことを理解する				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	4	「課題理解」のスキルを学ぶ 最初にすることを考える				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	5	「ポイント理解」のスキルを学ぶ 話し手の意図を考える				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	6	「ポイント理解」のスキルを学ぶ 言い換え/必要な情報を拾う				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	7	「概要理解」のスキルを学ぶ 例と例をまとめる言葉/キーワード				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	8	「概要理解」のスキルを学ぶ 話の主題をまとめる/意見・主張				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	9	「統合理解」のスキルを学ぶ				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	10	「新完全マスターN2聴解」 模擬問題				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	11	確認テスト・復習				学習した箇所を復習してください。(1時間)	
	12	N2聴解演習 「ドリル&ドリルN2聴解」 課題理解				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	13	N2聴解演習 「ドリル&ドリルN2聴解」 ポイント理解				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	14	N2聴解演習 「ドリル&ドリルN2聴解」 概要理解・即時応答				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
15	N2聴解演習 「ドリル&ドリルN2聴解」 即時応答・統合理解				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
評価方法	(1)定期試験(リスニング)を実施する。(2)授業の中で確認テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		○				50%
	確認テスト		○		○		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。 授業後は必ず音声練習・シャドーイング練習をすること。						

科目名	作文Ⅲ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	日浦 由布子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	日常的なものから自分の意見を述べるもの等、広範囲のトピックについて文を書く練習を行い、「総合日本語」「文法」で学習した語彙や慣用語句・文型を作文の中で適切に選び、正確に表現できることを目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				N3レベル以上の文法を用いて、ある程度まとまった文を書くことができる	
	○	○				自分の意見をはっきり書くことができる	
	○	○				正確な文法で書くことができる	
テキスト・教材 参考図書	・富岡純子/『日本語作文Ⅰ-身近なトピックによる表現練習-』/専門教育出版/2005年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	やさしい作文 ユニット20 「わたしの国の有名な人」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	2	日本語作文Ⅰ 25 「なぜ日本語を勉強するか」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	3	日本語作文Ⅰ 11 「私の住んでいる町」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	4	日本語作文Ⅰ 10 「日本語の授業」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	5	日本語作文Ⅰ 14 「趣味」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	6	日本語作文Ⅰ 17 「日本での食生活」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	7	日本語作文Ⅰ 22 「私の国の季節」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	8	日本語作文Ⅰ 24 「病気」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	9	日本語作文Ⅰ 26 「友だちと会って」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	10	日本語作文Ⅰ 28 「映画」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	11	日本語作文Ⅰ 29 「私の国の教育」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	12	日本語作文Ⅰ 32 「師走」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	13	はがき 年賀状				宿題:清書を書いてください(60分)	
	14	日本語作文Ⅰ 33 「お正月」				宿題:清書を書いてください(60分)	
	15	日本語作文Ⅰ 39 「もし1000万円あったら」				宿題:清書を書いてください(60分)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)課題(清書)を毎回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	課題提出	○	○		○		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	読解Ⅲ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	副島 弘子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	「読解Ⅱ(初中級)」の授業を終えた学生を対象とする。N3～N2レベルの読解問題を通して、日常的な場面で読まれる文章を読む力に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる読解力を身につける。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				身近で日常的话题についての新聞や雑誌の記事が読める	
	○	○				旅行のガイドブックや進学・就職情報誌を読んで、必要な情報がとれる	
	○	○				敬語が使われている手紙やメールが読める	
	○	○				幅広い話題について書かれた論旨が明快な文章を読んで、文章の内容を予測することができる。	
テキスト・教材 参考図書	・田代ひとみ 他 著 / 『新完全マスター読解N3』 / スリーエーネットワーク / 2014年 ・小林ひとみ 他 著 / 『N2読解スピードマスター』 / Jリサーチ出版 / 2011年						
授業計画	授業項目・内容			授業外学修指示			
	1	「新完全マスター読解N3」第4部(中文)36～38 「N2読解スピードマスター」読解力アップのポイントと練習1～6			わからなかった言葉をもう一度確認してください(15分) 間違えた問題をもう一度読んでください(15分)		
	2	「新完全マスター読解N3」第4部(中文)39～41 「N2読解スピードマスター」読解力アップのポイントと練習7～8			わからなかった言葉をもう一度確認してください(15分) 間違えた問題をもう一度読んでください(15分)		
	3	「新完全マスター読解N3」第4部(長文)42～44 「N2読解スピードマスター」内容理解(短文) 問題1～2			わからなかった言葉をもう一度確認してください(15分) 間違えた問題をもう一度読んでください(15分)		
	4	「新完全マスター読解N3」第4部(長文)45～47 「N2読解スピードマスター」内容理解(中文) 問題1			わからなかった言葉をもう一度確認してください(15分) 間違えた問題をもう一度読んでください(15分)		
	5	「新完全マスター読解N3」第4部(長文)48～51 「N2読解スピードマスター」内容理解(統合理解) 問題1			わからなかった言葉をもう一度確認してください(15分) 間違えた問題をもう一度読んでください(15分)		
	6	「新完全マスター読解N3」第4部(情報検索)52～55 「N2読解スピードマスター」情報検索 問題1			わからなかった言葉をもう一度確認してください(15分) 間違えた問題をもう一度読んでください(15分)		
	7	「新完全マスター読解N3」第4部(情報検索)56～59 「N2読解スピードマスター」主張理解(長文) 問題1			わからなかった言葉をもう一度確認してください(15分) 間違えた問題をもう一度読んでください(15分)		
	8	「新完全マスター読解N3」第4部(情報検索)60～64 「N2読解スピードマスター」内容理解(短文) 問題3～4			わからなかった言葉をもう一度確認してください(15分) 間違えた問題をもう一度読んでください(15分)		
	9	「N2読解スピードマスター」内容理解(中文) 問題2～4			わからなかった言葉をもう一度確認してください(15分) 間違えた問題をもう一度読んでください(15分)		
	10	「N2読解スピードマスター」統合理解 問題2～3			わからなかった言葉をもう一度確認してください(15分) 間違えた問題をもう一度読んでください(15分)		
	11	「N2読解スピードマスター」主張理解(長文) 問題2～4			わからなかった言葉をもう一度確認してください(15分) 間違えた問題をもう一度読んでください(15分)		
	12	「N2読解スピードマスター」情報検索 問題2～3			わからなかった言葉をもう一度確認してください(15分) 間違えた問題をもう一度読んでください(15分)		
	13	「N2読解スピードマスター」第1回 模擬試験			わからなかった言葉をもう一度確認してください(15分) 間違えた問題をもう一度読んでください(15分)		
	14	「N2読解スピードマスター」内容理解(短文) 問題5～8			わからなかった言葉をもう一度確認してください(15分) 間違えた問題をもう一度読んでください(15分)		
15	「N2読解スピードマスター」内容理解(中文) 問題5～7			わからなかった言葉をもう一度確認してください(15分) 間違えた問題をもう一度読んでください(15分)			
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				100%

履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	文字語彙Ⅲ					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	日浦・高田	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年					
授業概要	日本語能力試験N2の問題を数多く解くことで、試験の傾向や特徴をつかみ、N2に合格できる語彙力を養成する。 またテキスト以外にも様々な文章に触れ、語彙を広げる。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				派生語や複合語を覚えて、使うことができる。
	○	○				N3～N2レベルの文に合った適切な言葉を選ぶことができる。
	○	○				N3～N2レベルの言葉や表現と意味的に近い言葉や表現を覚え、使うことができる。
	○	○				N3～N2レベルの語が文の中でどのように使われるか理解し、使うことができる。
テキスト・教材 参考図書	松浦真理子 鈴木健司 監修 『日本語パワードリルN2文字・語彙』 アスク出版 2010年					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	「日本語パワードリルN2文字語彙」1～2回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	2	「日本語パワードリルN2文字語彙」3～4回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	3	「日本語パワードリルN2文字語彙」5 ・ 復習			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	4	「日本語パワードリルN2文字語彙」1～5回テスト 集中トレーニング(動詞・擬音語)			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)	
	5	新聞・ニュースなどの語彙			授業で学んだ言葉・表現を復習すること(0.5時間)	
	6	「日本語パワードリルN2文字語彙」6～7回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	7	「日本語パワードリルN2文字語彙」8～9回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	8	「日本語パワードリルN2文字語彙」10回 ・ 復習			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	9	「日本語パワードリルN2文字語彙」6～10回テスト 集中トレーニング(カタカナ語)			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)	
	10	新聞・ニュースなどの語彙			授業で学んだ言葉・表現を復習すること(0.5時間)	
	11	「日本語パワードリルN2文字語彙」11～12回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	12	「日本語パワードリルN2文字語彙」13～14回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	13	「日本語パワードリルN2文字語彙」15回 ・ 復習			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	14	「日本語パワードリルN2文字語彙」11～15回テスト 集中トレーニング(接続語)			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)	
	15	新聞・ニュースなどの語彙			授業で学んだ言葉・表現を復習すること(0.5時間)	
	16	「日本語パワードリルN2文字語彙」16～17回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	17	「日本語パワードリルN2文字語彙」18～19回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	18	「日本語パワードリルN2文字語彙」20回 ・ 復習			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	19	「日本語パワードリルN2文字語彙」16～20回テスト 集中トレーニング(副詞・慣用句)			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)	
	20	新聞・ニュースなどの語彙			授業で学んだ言葉・表現を復習すること(0.5時間)	
	21	「日本語パワードリルN2文字語彙」21～22回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	22	「日本語パワードリルN2文字語彙」23～24回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	23	「日本語パワードリルN2文字語彙」25回 ・ 復習			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	24	「日本語パワードリルN2文字語彙」21～25回テスト 集中トレーニング(慣用句)			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)	
	25	新聞・ニュースなどの語彙			授業で学んだ言葉・表現を復習すること(0.5時間)	
	26	「日本語パワードリルN2文字語彙」26～27回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
27	「日本語パワードリルN2文字語彙」28～29回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		

	28	「日本語パワードリルN2文字語彙」30回 ・ 復習	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	29	「日本語パワードリルN2文字語彙」26～30回テスト ・ 復習	確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)				
	30	新聞・ニュースなどの語彙	授業で学んだ言葉・表現を復習すること(0.5時間)				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○		○		50%
履修上の注意							

科目名	文法B				
科目名(英)					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	日浦 由布子
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年				
授業概要	日本語能力試験N2レベルの文法項目を学びます。例文を参考にしながら、意味や接続の形などを学びます。文を作ったり、文章を読んだりしながら、その文法がどのように使われているかを知ります。文法を学ぶことで、N2レベルの会話を聞いたり、文章を読んだりするための基礎力を高めます。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	目標 文の内容に合った文法形式かどうかを判断し、文を作ることができる。				
	○	○			
	N2レベルの文法知識を使って、意味が通る文を組み立てることができる。				
テキスト・教材 参考図書	遠藤ゆう子 著 遠藤由美子 監修「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」三修社 2010年 「日本語能力試験対策N2文法問題集」三修社 2010年				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第1週			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	2	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第2週1日目～2日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	3	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第2週2日目②～3日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	4	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第2週4日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	5	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第2週5日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	6	第2週 確認テスト・復習			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)
	7	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第3週1日目～2日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	8	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第3週2日目②～3日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	9	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第3週4日目～5日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	10	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第3週5日目②～第4週1日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	11	第3週 確認テスト・復習			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)
	12	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第4週2日目～3日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	13	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第4週3日目②～4日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	14	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第4週5日目～第5週1日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	15	第4週 確認テスト・復習			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)
	16	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第5週1日目②～2日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	17	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第5週3日目～4日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	18	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第5週4日目②～5日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	19	第5週 確認テスト・復習			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)
	20	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第6週1日目～2日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	21	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第6週2日目②～3日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	22	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第6週4日目～5日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	23	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第6週5日目②～第7週1日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	24	第6週 確認テスト・復習			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)
	25	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第7週2日目～3日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	26	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第7週3日目②～4日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	27	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第7週5日目～第8週1日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
28	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第8週1日目②～2日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	

	29 「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第8週3日目～4日目①	教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)																								
	30 「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第8週4日目②～5日目	教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)																								
評価方法	(1)授業の中で確認テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="635 304 775 349">言語情報</th> <th data-bbox="775 304 916 349">知的技能</th> <th data-bbox="916 304 1056 349">運動技能</th> <th data-bbox="1056 304 1197 349">態度・意欲</th> <th data-bbox="1197 304 1337 349">その他</th> <th data-bbox="1337 304 1514 349">評価割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="635 349 775 394">定期試験</td> <td data-bbox="775 349 916 394">○</td> <td data-bbox="916 349 1056 394">○</td> <td data-bbox="1056 349 1197 394"></td> <td data-bbox="1197 349 1337 394"></td> <td data-bbox="1337 349 1514 394">50%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="635 394 775 439">確認テスト</td> <td data-bbox="775 394 916 439">○</td> <td data-bbox="916 394 1056 439">○</td> <td data-bbox="1056 394 1197 439">○</td> <td data-bbox="1197 394 1337 439"></td> <td data-bbox="1337 394 1514 439">50%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="635 439 775 472"></td> <td data-bbox="775 439 916 472"></td> <td data-bbox="916 439 1056 472"></td> <td data-bbox="1056 439 1197 472"></td> <td data-bbox="1197 439 1337 472"></td> <td data-bbox="1337 439 1514 472"></td> </tr> </tbody> </table>	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	定期試験	○	○			50%	確認テスト	○	○	○		50%						
	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合																				
	定期試験	○	○			50%																				
確認テスト	○	○	○		50%																					
履修上の注意																										

科目名	キャリア教育B						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	日浦 由布子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	進学のための必要事項を学び、各自進学スケジュールを立てる。 他学科の教職員や学生との交流、授業見学などを通して、卒業後の進路について考える。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○	○		自分で積極的に情報を収集し、自らの進路を決定できる。	
	○			○		進学に向けたスケジュールを立て、能動的に準備を進めることができる。	
テキスト・教材 参考図書	必要に応じて、プリントを配布します。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	進路について考える⑤(進学先の決定)				課題を作成してください(20分)	
	2~4	他学科学生との交流会				課題を作成してください(20分)	
	5~7	進学について考える⑥(面接)				課題を作成してください(20分)	
	8	校外学習				課題を作成してください(20分)	
評価方法	(1)課題の提出状況で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題の提出状況				◎		100%
履修上の注意	毎回課題を出します						

科目名	会話Ⅲ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	濱田 奈美子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	日常よく接する場面における会話を聞き、語彙・表現のバリエーションを習得しながら、さまざまな場面で表現の選択を自らが行え、コミュニケーション能力を高めることを目標とする						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				上下親疎などの多様な人間関係と状況を把握できる	
	○	○		○		場面に応じた表現を使うことができる	
	○			○		生活場面において、日本語での自然な会話ができる	
テキスト・教材 参考図書	ボイクマン総子他「聞いて覚える話し方 日本語生中継」くろしお出版 2014年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オリエンテーション			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	2	1課: 出会い			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	3	2課: ホテルで			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	4	3課: うわさ			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	5	4課: 機械のトラブル			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	6	5課: 失敗			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	7	6課: 電話をかける			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	8	7課: 健康のために			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	9	8課: 駅で			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	10	9課: 趣味			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	11	10課: 抱負			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	12	総復習①			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	13	総復習②			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	14	確認テスト①					
15	確認テスト②						
評価方法	(1)確認テスト(口頭)(2)会話作成・発表 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○		○		50%
	会話作成・発表	○	○		○		50%
履修上の注意							

科目名	聴解Ⅲ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	河崎 新弥		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	日本語能力試験N1の問題を数多く解くことで、試験の傾向や特徴をつかみ、N1に合格できる聴解力を養成します。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					具体的な課題解決に必要な情報を聞き取り、次に何をするのが適当か予測できる。	
	○					事前に示されている聞かすべきことをふまえて、ポイントを絞って聞くことができる。	
	○					テキスト全体から話者の意図や主張などが予測できる。	
	○					質問などの短い発話を聞いて、適切な応答ができる。	
○					長めのテキストを聞いて、複数の情報を比較・統合しながら、内容が予測できる。		
テキスト・教材 参考図書	・青木幸子 塩川絵里子 藤田朋世 水野沙江香 渡部真由美 著『スピードマスターN1聴解』Jリサーチ 2011年 ・星野恵子 辻和子 著『ドリル&ドリルN1聴解・読解』UNICOM 2011年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	「スピードマスター」課題理解1～8				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	2	「スピードマスター」課題理解9～17				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	3	「スピードマスター」ポイント理解1～7				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	4	「スピードマスター」ポイント理解8～14				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	5	「スピードマスター」ポイント理解15～21				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	6	「スピードマスター」概要理解1～8				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	7	「スピードマスター」概要理解9～17				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	8	「スピードマスター」即時応答1～25				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	9	「スピードマスター」統合理解1～6				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	10	確認テスト・復習				学習した箇所を復習してください。(1時間)	
	11	「ドリル&ドリルN1聴解」課題理解				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	12	「ドリル&ドリルN1聴解」ポイント理解				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	13	「ドリル&ドリルN1聴解」概要理解				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	14	「ドリル&ドリルN1聴解」即時応答				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
15	「ドリル&ドリルN1聴解」統合理解				事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを実施する。(2)定期試験(リスニング)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		○				50%
	確認テスト		○		○		50%
履修上の注意							

科目名	作文Ⅲ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	今村 真紀子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	意見文が書けるようにする。それが相手にきちんと伝わり、相互理解できるようにする。単文のミスを少なくし、複文を使って複雑な文が書けるようにする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				既習の言葉・表現から適切なものを選んで使用し、作文を書くことが出来る。	
	○	○				文章の構成に注意しながら、論理的に意見文を書くことが出来る。	
		○				ニュースを見て、自分の意見を書くことが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	・松岡龍美 目黒真実 青山豊 著 『記述問題テーマ100』 凡人社 2010年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	意見文①-「時事問題」				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	2	意見文①-2				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	3	意見文②-1「時事問題」				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	4	意見文②-2				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	5	意見文③-1「教育」				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	6	意見文③-2				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	7	意見文④-1「自然・環境」				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	8	意見文④-2				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	9	意見文⑤-1「医療・健康」				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	10	意見文⑤-2				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	11	意見文⑥-1「現代社会・日本事情」				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	12	意見文⑥-2				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	13	意見文⑦-1「現代社会・日本事情」				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	14	意見文⑦-2				授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。(1時間)	
	15	復習					
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	宿題・レポート	○	○		○		50%
履修上の注意							

科目名	読解Ⅲ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	河崎 新弥		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	「指示詞」「主語述語」「比喻」など読解のストラテジーをテーマごとに学習し、読解の基礎力を固める。 JLPT N1レベルの問題で練習しながら、出題のパターンと解法をつかむ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				複雑な文や文章の構造が理解できるようになる。	
	○	○				500字程度の中文を読み、内容の事実関係や筆者の考えなどを読み取ることができる。	
	○	○				1000字程度の長文を読み、全体として伝えようとしている主張や意見がつかめる。	
	○	○				600字程度の複数の文章を読み比べて、比較したり統合したりしながら内容が予測できる。	
	○	○				700字程度の広告やパンフレットを読んで、必要な情報を見つけることができる。	
テキスト・教材 参考図書	・氏原庸子 岡本牧子 清島千春 佐伯玲子 著『N1読解必修パターン』Jリサーチ出版 2015年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	基礎編 第1章 短文・中文: 指示詞、事実関係			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	2	基礎編 第1章 短文・中文: 言葉の意味、話の展開			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	3	基礎編 第1章 短文・中文: 人物の気持ち、理由や根拠			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	4	基礎編 第1章 短文・中文: 全体の内容、筆者が言いたいこと			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	5	基礎編 第1章 短文・中文: 連絡文、情報検索			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	6	基礎編 第2章 長文A: 解説、論説			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	7	基礎編 第2章 長文B: エッセイ、小説、紀行文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	8	確認テスト / フィードバック			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
	9	対策編 第1章 対策準備			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	10	対策編 第2章 実践練習(内容理解): 短文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	11	対策編 第2章 実践練習(内容理解): 中文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	12	対策編 第2章 実践練習(統合理解)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	13	対策編 第2章 実践練習(主張理解)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	14	対策編 第2章 実践練習(情報理解)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	15	確認テスト / フィードバック			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	確認テスト	○	○		○		50%
履修上の注意							

科目名	文字語彙Ⅲ					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	河崎 新弥	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年					
授業概要	日本語能力試験N1の問題を数多く解くことで、試験の傾向や特徴をつかみ、N1に合格できる語彙力を養成する。 またテキスト以外にも様々な文章に触れ、語彙を広げる。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					漢字の読み方・書き方がわかる。
	○	○				派生語や複合語を覚えて、使うことができる。
	○	○				文に合った適切な言葉を選ぶことができる。
	○	○				ある言葉や表現と意味的に近い言葉や表現を覚え、使うことができる。
	○	○				ある語が文の中でどのように使われるか理解し、使うことができる。
テキスト・教材 参考図書	松浦真理子 鈴木健司 監修 『日本語パワードリルN1文字・語彙』 アスク出版 2010年					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	「日本語パワードリルN1文字語彙」1～2回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	2	「日本語パワードリルN1文字語彙」3～4回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	3	「日本語パワードリルN1文字語彙」5 ・ 復習			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	4	「日本語パワードリルN1文字語彙」1～5回テスト 集中トレーニング(動詞)			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)	
	5	新聞・ニュースなどの語彙			授業で学んだ言葉・表現を復習すること(0.5時間)	
	6	「日本語パワードリルN1文字語彙」6～7回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	7	「日本語パワードリルN1文字語彙」8～9回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	8	「日本語パワードリルN1文字語彙」10回 ・ 復習			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	9	「日本語パワードリルN1文字語彙」6～10回テスト 集中トレーニング(慣用語)			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)	
	10	新聞・ニュースなどの語彙			授業で学んだ言葉・表現を復習すること(0.5時間)	
	11	「日本語パワードリルN1文字語彙」11～12回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	12	「日本語パワードリルN1文字語彙」13～14回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	13	「日本語パワードリルN1文字語彙」15回 ・ 復習			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	14	「日本語パワードリルN1文字語彙」11～15回テスト 集中トレーニング(カタカナ語)			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)	
	15	新聞・ニュースなどの語彙			授業で学んだ言葉・表現を復習すること(0.5時間)	
	16	「日本語パワードリルN1文字語彙」16～17回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	17	「日本語パワードリルN1文字語彙」18～19回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	18	「日本語パワードリルN1文字語彙」20回 ・ 復習			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	19	「日本語パワードリルN1文字語彙」16～20回テスト 集中トレーニング(擬音語・擬態語)			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)	
	20	「日本語パワードリルN1文字語彙」21～22回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	21	「日本語パワードリルN1文字語彙」23～24回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	22	「日本語パワードリルN1文字語彙」25回 ・ 復習			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	23	「日本語パワードリルN1文字語彙」21～25回テスト 集中トレーニング(擬音語・擬態語・パソコン関係のことば)			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)	
	24	「日本語パワードリルN2文字語彙」26～27回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	25	「日本語パワードリルN2文字語彙」28～29回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	26	「日本語パワードリルN2文字語彙」30回 ・ 復習			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	

	27	「日本語パワードリルN2文字語彙」26～30回テスト・復習	確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)				
	28	新聞・ニュースなどの語彙	授業で学んだ言葉・表現を復習すること(0.5時間)				
	29	新聞・ニュースなどの語彙	授業で学んだ言葉・表現を復習すること(0.5時間)				
	30	新聞・ニュースなどの語彙	授業で学んだ言葉・表現を復習すること(0.5時間)				
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○		○		50%
履修上の注意							

科目名	文法B					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	戸部田 紀久子	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年					
授業概要	日本語能力試験N1レベルの文法項目を学びます。例文を参考にしながら、意味や接続の形などを学びます。文を作ったり、文章を読んだりしながら、その文法がどのように使われているかを知ります。文法を学ぶことで、N1レベルの会話を聞いたり、文章を読んだりするための基礎力を高めます。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
	○	○				
	目標 文の内容に合った文法形式かどうかを判断し、文を作ることができる。					
	○	○				
	N1レベルの文法知識を使って、意味が通る文を組み立てることができる。					
テキスト・教材 参考図書	山田光子 著 遠藤由美子 監修 「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」 三修社 2012年 「日本語能力試験対策N1文法問題集」 三修社 2012年					
授業計画	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第1週1日目、2日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	2	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第1週2日目②、3日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	3	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第1週4日目、5日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	4	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第1週5日目②、第2週1日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	5	第1週 確認テスト・復習			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)	
	6	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第2週2日目、3日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	7	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第2週3日目②、4日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	8	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第2週5日目、第3週1日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	9	第2週 確認テスト・復習			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)	
	10	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第3週1日目②、2日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	11	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第3週3日目、4日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	12	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第3週4日目②、5日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	13	第3週 確認テスト・復習			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)	
	14	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第4週1日目、2日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	15	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第4週2日目②、3日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	16	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第4週4日目、5日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	17	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第4週5日目②、第5週1日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	18	第4週 確認テスト・復習			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)	
	19	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第5週2日目、3日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	20	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第5週3日目②、4日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	21	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第5週5日目、第6週1日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	22	第5週 確認テスト・復習			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)	
	23	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第6週1日目②、2日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	24	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第6週3日目、4日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	25	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第6週4日目②、5日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	26	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第7週1日目、2日目①			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	27	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第7週2日目②、3日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
28	「日本語能力試験対策N1文法総まとめ」第7週4日目、5日目			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		

29	復習	教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)					
30	復習	教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)					
評価方法	(1)授業の中で確認テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	確認テスト	○	○		○		50%
履修上の注意							

科目名	キャリア教育B						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	河崎 新弥		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	進学のための必要事項を学び、各自進学スケジュールを立てる。 他学科の教職員や学生との交流、授業見学などを通して、卒業後の進路について考える。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		積極的に情報を収集し、自らの進路を決定する。	
				○		進学に向けたスケジュールを立て、能動的に準備を進めることができる。	
テキスト・教材 参考図書	必要に応じて、資料を配布します。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1~3	他学科学生・教員との交流会					
	4~8	ホームルーム・進学指導					
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	レポートで評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポートで評価する。				◎		100%
履修上の注意							

科目名	総合日本語Ⅲ						
科目名(英)							
単位数	11単位	時間数	170時間	担当者	日浦 由布子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年6か月)2年						
授業概要	中級(N3~N2)レベルの文法・語彙・聴解・会話表現を総合的に学習し、日常生活での日本語に加え、より幅広い場面で使われる日本語を学び、実際に使えるようになることを目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				N3~N2レベルの言葉・文法を覚え、実際に使うことができる。	
		○				N3~N2レベルの文章が読め、だいたいの内容を理解し、問題に答えることができる。	
		○				日常身近に体験する出来事や社会的な話題について、感想を述べるができる。	
	○					異なる視点や考え方を持つ相手とも、興味・関心を持って情報や意見の交換ができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・平井悦子・三輪さち子/『中級へ行こう 日本語の文型と表現55 第2版』/スリーエーネットワーク/2017年 ・平井悦子・三輪さち子/『中級を学ぼう 日本語の文型と表現56 中級前期 第2版』/スリーエーネットワーク/2019年 ・平井悦子・三輪さち子/『中級を学ぼう 日本語の文型と表現82 中級中期』/スリーエーネットワーク/2009年 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1~4	中級から学ぶ日本語 6課				予習:文法の確認(20分) 復習:プリント(20分)	
	5~8	中級から学ぶ日本語 7課				予習:文法の確認(20分) 復習:プリント(20分)	
	9~12	中級から学ぶ日本語 8課				予習:文法の確認(20分) 復習:プリント(20分)	
	13	確認テスト				間違えた問題をもう一度してください(30分)	
	14~19	中級を学ぼう 中級前期 1課				予習:文法の確認(20分) 復習:「書こう」、プリント(20分)	
	20~24	中級を学ぼう 中級前期 2課				予習:文法の確認(20分) 復習:「書こう」、プリント(20分)	
	25~29	中級を学ぼう 中級前期 3課				予習:文法の確認(20分) 復習:「書こう」、プリント(20分)	
	30	確認テスト				間違えた問題をもう一度してください(30分)	
	31~35	中級を学ぼう 中級前期 4課				予習:文法の確認(20分) 復習:「書こう」、プリント(20分)	
	36~40	中級を学ぼう 中級前期 5課				予習:文法の確認(20分) 復習:「書こう」、プリント(20分)	
	41~45	中級を学ぼう 中級前期 6課				予習:文法の確認(20分) 復習:「書こう」、プリント(20分)	
	46	確認テスト				間違えた問題をもう一度してください(30分)	
	47~51	中級を学ぼう 中級前期 7課				予習:文法の確認(20分) 復習:「書こう」、プリント(20分)	
	52~56	中級を学ぼう 中級前期 8課				予習:文法の確認(20分) 復習:「書こう」、プリント(20分)	
	57	確認テスト				間違えた問題をもう一度してください(30分)	
	58~62	中級を学ぼう 中級中期 1課				予習:文法の確認(20分) 復習:「書こう」、プリント(20分)	
	63~67	中級を学ぼう 中級中期 2課				予習:文法の確認(20分) 復習:「書こう」、プリント(20分)	
	68~72	中級を学ぼう 中級中期 3課				予習:文法の確認(20分) 復習:「書こう」、プリント(20分)	
	73	確認テスト				間違えた問題をもう一度してください(30分)	
	74~78	中級を学ぼう 中級中期 4課				予習:文法の確認(20分) 復習:「書こう」、プリント(20分)	
	79~83	中級を学ぼう 中級中期 5課				予習:文法の確認(20分) 復習:「書こう」、プリント(20分)	
	84	確認テスト				間違えた問題をもう一度してください(30分)	
85	総復習				間違えた問題をもう一度してください(30分)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テストを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				60%
	確認テスト	○	○				40%
履修上の注意							

